

札幌北ロータリークラブ会報



2024-25年度スローガン
「輪を以て貴しとなす」

2025年 5月12日 (月) 12:30 第2364回例会

本日のプログラム

会員卓話

伊藤貴穂 会員・頓所裕之 会員 卓話



プログラム委員会
草間 孝廣 委員長

前回例会記録 2363回 4月21日 (月) 12:30

【司 会】 黒川 篤 会長
【ビジター】 おりません
【ゲスト】 朝倉 利晃 様 (グローバル奨学生)

4/21 出席報告

会員数	出席	欠席	除外	%
37	23	12	2	66

会長報告

■朝倉さんのショートスピーチです。

委員会報告

◆特にございません



ニコニコBOX

☺ **出村知佳子会員**：朝倉さん、今日はようこそいらっしゃいました。川内さん、勝木さんの卓話楽しみにしています。

☺ **藤城英明会員**：先日、次年度の地区研修・協議会に、次年度地区幹事として参加してきました。本クラブの鈴木次年度会長をはじめ、参加役員の皆様お疲れ様でした。本日は次年度のメッセージバッジとネクタイをつけて参加しております。玉井次年度ガバナーに頂いたものです。皆様と久しぶりにお会いできてニコニコです。

☺ **川内玄太会員**：本日、勝木美奈子会員と一緒に環境についてお話しさせていただきます。工務店視点の「環境」について、少しでも皆さんと共有できると幸いです。またお仕事増えちゃう。ニコニコです ^^

☺ **草間孝廣会員**：本日、環境月間に因んで、日頃から大変お世話になっております、川内会員、勝木会員の卓話をお願いしてニコニコです。また、今日の例回に久しぶりに朝倉さんが帰札しましてニコニコです。

☺ **斉藤昌一会員**：財団奨学生の朝倉利晃さん、本日はお忙しい中例会にお越しいただきありがとうございます。また、ロンドンからの毎月の報告書では、留学の様子を色々な視点から教えていただきとても学ばさせていただいてます。本日も、スピーチ楽しみです。よろしくお願いいたします。

☺ **黒川篤会員**：川内会員、勝木会員、本日の卓話よろしくお願いします。

☺ **林里紅会員**：本日は川内さん、勝木さんの卓話楽しみにしております。

☺ **勝木美奈子会員**：本日は、初めての卓話を川内さんと一緒にさせていただきます。よろしくお願いいたします。

24-25年度 ニコニコBOX 合計金額

3月4回	¥95,000—
4月3回	¥109,000—
小計(2ヶ月)	¥204,000—
合計(10ヶ月)	¥842,000—

いつもたくさんのニコニコありがとうございます☺

4/14 メインプログラム



「ポリオプラスの活動について」

地区ポリオプラス委員会
志田 勇人 委員長

ポリオ感染症について

ポリオ（急性灰白髄炎）は、野生型ポリオウイルスによる感染とワクチン由来型ポリオの 2 種類があり、汚染水を介して広がります。ワクチンには経口生ポリオワクチン（OPV）と不活化ワクチン（IPV）があり OPV は安価で迅速な接種が可能です。一方、IPV は安全性が高いものの高額で接種回数が多くなります。ワクチン戦略として大規模流行時には経口ワクチンで速やかに免疫を獲得し、終息に向かう段階で不活化ワクチンに切り替えることでワクチン由来の感染リスクを抑えます。

ポリオプラスの創設について

ロータリーは 1979 年にフィリピンでポリオワクチンの接種を開始し、1985 年にポリオプラスを創設。当時の西太平洋の WHO 事務局長であった尾身 茂先生は、1990 年に中国でのポリオ根絶活動に 50 億円が必要となり、日本のロータリーが 1.5 億円を拠出したことがその後の大規模な寄付につながり、そしてポリオ根絶に大きく貢献したことを感謝しています。

ポリオプラス委員会の活動

2510 地区ではポリオ根絶のための募金活動や啓発イベントを積極的に実施し、ポリオデーに合わせたチャリティーコンサートやオークションを通じて支援の輪を広げています。ポリオ根絶にはワクチン接種と上下水道整備が不可欠であり、継続的な支援と寄付が重要です。

メインプログラム



「環境月間にちなんで」

川内 玄太 会員
勝木 美奈子 会員

環境月間ということで、家づくりを生業としている、藤城建設の川内と勝木が、工務店が考える「環境」について、今回は「木」と「電気」にテーマを絞ってお話したいと思います。まず、なぜ藤城建設が木造住宅にこだわるかというと、住宅に木材を

使用することで、木が成長過程で吸収した二酸化炭素が、木に固着され、大気中の CO2 を削減する効果があることで、木造住宅を建てることは地球温暖化防止に貢献するからです。一般的な住宅の炭素固定量は 3～4 t-c と言われており、藤城建設では年間 100 棟近くの住宅を建設することで、道民の 4000～5000 人が 1 年間に呼吸する放出量を賄っていることになります。世界では木造もどんどん進化しており、ビル化が進んでいます。東京の日本橋では国内最大の 18 階建ての木造ビルが 2026 年に完成予定です。アメリカのミルウォーキーでは 55 階建てが建設されるとのことです。近くでは札幌大通公園のテレビ塔横にあるザロイヤルパークキャンパスのホテルが当時は国内初としてニュースにもなりました。



画像でも見えるように高層なのに木造が見えるというのは珍しい光景かと思います。またそれらの木材が日本産より輸入が多くなっている問題もあります。日本は森林保有率では先進国の中でも第三位という資源を持ちながら、北海道の人口林のうち 60% が伐採の時期にあるのに、日本国内で使われている木材の 70% が輸入に頼っている現状があります。日本の木、北海道の木を使うことが求められています。

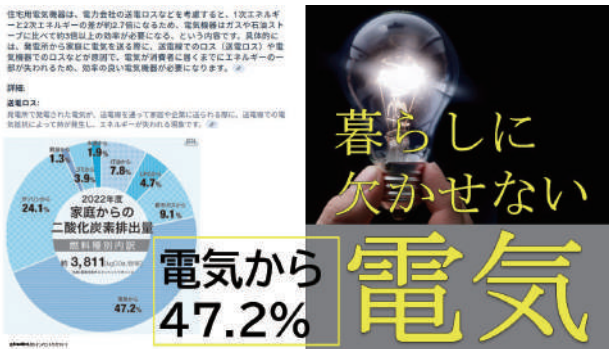


暮らしに欠かせない電気についてお話しさせていただきます。

まず、家庭から排出される二酸化炭素の約半分を占める 47% が電気からと言われています。その電気は化石燃料を燃焼させて発電し、エネルギーの一部を失う送電ロスを経て家庭に届くため、発電所では約 2.7 倍の燃焼エネルギーが必要だと言われています。

そんな電気による二酸化炭素排出量を減らすために、私たちができることは節電すること、発電すること、この二つが挙げられると思います。節電というと我慢することをイメージされると思いますが、藤城建設では燃費の良い家ということで、光熱費を抑えた家が節電に繋がると考えます。燃費の良い家づくりについて今回は簡単に言うと、冬の場合は外の冷気を遮断し、少しのエネルギーで温めた空気を家の中に保ち、換気の時も家の暖かさを無駄にしない。そして、自然エネルギーである太陽の光、暖かさを最大限利用する家づくりに取り組んでいます。

発電については、自宅で使う分は自宅で発電するという考えのもと、今家庭用として一般に普及流通しているものの中では太陽光パネル、太陽光発電設備がベストだと思います。家で発電して家で使えば送電ロスの問題もクリアします。



我慢することではなく！「燃費の良い家」

節電

- ・高気密高断熱
- ・トリプルサッシ
- ・高断熱玄関ドア
- ・第一種熱交換換気
- ・日射を取り込む設計

外の冷気を遮断し
少しのエネルギーで暖めた空気を保ち
換気の時も家の暖かさをムダにしない
太陽の光(暖かさ)を最大限利用する

発電

「太陽光パネル」

自宅で使う分は自宅で発電する！
今、家庭用として普及・流通しているものは
「太陽光発電設備」
自家発電利用なら送電ロスもない。

藤城建設では 2020 年に屋根と外壁面に太陽光パネルを設置し、蓄電池や電気自動車への充電、家への給電が可能な V2H を取り入れたモデルハウスを完成させました。こちらのモデルハウスでは、北海道庁や東大教授の方々と協力しながら、家中どこでも暖かいこと、どの部屋も室温が安定していることなどのエビデンスを集めることにより、国土交通省が後援する第 1 回 SDGs 住宅賞にて栄誉ある賞をいただくことができました。そして 2023 年には、誰でも手が届く価格帯の住宅をということで、多雪地域でも冬に発電する家が完成し、日本エコハウス大賞にて 2 つの大きな賞を受賞することができました。

こちらのおうちに実際に住んでいるお客様からは、電気代の高騰でびくびくしていましたが、とんでもなく安くなってびっくりしました。エアコンも一日中つけっぱなしでどの部屋もずっと快適です、といったメッセージをいただきました。

のちに、こちらのお客様がブログを執筆されたのですが、道外出身のお客様がオール電化の賃貸で何も気にせずに生活していたところ、初めての冬の電気代が 8 万 9000 円で腰が砕けたと。そこから暖房禁止令を発令して、家の中でもオリーブオイルが凍るような寒さの中で家族を生活させたことに対して、「ごめんね」と謝罪し、タイムマシンがあったらあの頃の妻に「何年かしたら暖かい家に引っ越せるからね」と声を掛けてあげたいと記していました。こちらのお客様が新築を建てて 1 年が過ぎ、高熱費データをまとめて見ると、売電を差し引いた電気代負担額が年間 11 万円という結果になりました。更にお客様は PHEV のアウトランダーに乗っていたため、この 11 万円の中には電気自動車の充電代も含まれています。

お客様の光熱費 大公開！！

水電ガス代
24,300円
2023年
24,300円
2023年
24,300円

28坪オール電化住宅
年間光熱費11万円！！

自家用車はPHEV
アウトランダーで
ガソリン代削減

エアコンつけっぱなし
ノンストレス・AI快適自動

お客様宅の電気使用量・太陽光発電量データ



パリ協定日本の温室効果ガス削減目標
2030年度に46%削減(2013年度比)さらに50%の高みに挑戦

昨年 3 月の一例ですが、電気の使用量、発電量のデータから算出される二酸化炭素の排出量は 293 キロ、削減量は 220 キロでした。パリ協定における日本の温室効果ガス削減目標である、2030 年度までに 46% 削減というところも、一家庭において既に達成しているような状況です。

とはいえ、2023 年の北海道における総住宅数は 288 万 8500 戸に対して、2024 年の新設住宅は 2 万 8250 戸ということで、新築は約 1% しかありません。なので、新築住宅だけではなく、今ある住宅も環境にやさしい住宅にしていかなければなりません。

なので、新築はある程度環境に配慮した、永く住める家を提供できだとしても、問題なのは既存住宅です。今までは壊して建てるの繰り返し、スクラップ&ビルド大国ニッポンだったので、古くなった家を出来る限り残して蘇らせる「ウチリノベ」というリノベーションブランドをスタートしたのが今年の 2 月です。築 30 年以上の家でも性能を高め、自ら発電する家に住み、デザイン性の高い心地よい住まいで、光熱費も最小限、環境に配慮された家が、新築よりも安く手にすることが出来ます。



藤城建設のミッションは「未来の子供たちに、より良い環境を残す仕事」です。新築でもリノベでも北海道の気候に適した、北海道らしい性能や素材のデザインと、北海道にフィットする太陽光発電などの創エネとサステナブルな考え方が掛け合わせられれば、「人にやさしい・家計にやさしい・環境にやさしい」の 3 やさしい、北海道らしいデザインとエネルギーが両立した「北海道エコハウス」という定義の、新しい価値を持ったスタンダードな住まいが日本を豊かにすると思います。



HOKKAIDO DESIGN × HOKKAIDO ENELGY

会務報告

次週、次々週の例会はお休みです。次回の例会は 5 月 12 日クラブ奉仕委員会担当、会員卓話です。皆様のご出席宜しくお願い致します。

北クラブ情報

例会日 毎週月曜日 12:30

例会場 グランドメルキュール札幌大通公園



札幌北RCホームページ
<http://www.sapporo-north.jp/>

- * 5 月 12 日 (月) 会員卓話
- * 5 月 19 日 (月) **【夜間】創立 54 周年記念例会**
- * 5 月 26 日 (月) 月間テーマにちなんで 蓑輪隆宏会員 卓話
- * 6 月 2 日 (月) 米山奨学生 パン スー インさん 卓話

5 月は
青少年奉仕
月間

他クラブ予定表

13日(火)

札幌西	会員卓話 3名リレー形式
はまなす	通常例会
札幌清田	通常例会
大通公園	未定

15日(木)

札幌東	新会員卓話
札幌西北	青少年奉仕卓話

17日(土)

札幌手稲	移動例会 ※受付あり
------	------------

14日(水)

モーニング	青少年奉仕月間に因んで
札幌	一般社団法人未来工房 代表山口氏 卓話
真駒内	地区青少年奉仕委員長 西村英晃氏 卓話
新札幌	劉軍劉さん 卓話

16日(金)

札幌幌南	【夜間】札幌幌南RAC 創立50周年記念式典 ※受付あり
------	---------------------------------

19日(月)

札幌南	支援金贈呈式
-----	--------

※予定は変更になる可能性があります。また、ビジターで他クラブへ行かれる際はご連絡が必要な場合があります。※